※令和３年度以前入学生用

学校番号	3020

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	国語表現	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	『国語表現　改訂版』(大修館書店)						
副教材等	『小論文頻出テーマ 2022 チェック＆ワーク』(第一学習社)						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「ことば」を習得するには、語句の意味・漢字の読み書きなど基本的な学習を毎日地道に続けることが不可欠です。勉強に取り組む際は、必ず国語辞典を用意しておきましょう。授業でも使用します。国語表現の課題の作文や小論文を自分で推敲したり、先生に添削してもらったりした後に、もう一度書き直すことも大切な取り組みです。手間を惜しまずに取り組んでください。

2　学習の到達目標

・整った文章を書くための決まりを身につける。
・原稿用紙の使い方や推敲の観点を理解する。
・小論文執筆の進め方とそのポイントを理解する。
・適切な言葉遣いや態度で話すことができる。
・相手に伝わる表現（話し方・書き方）ができる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	目的に応じて表現を工夫したり、推敲したりして、話したり文章にまとめたりしようとしている。	自分の考えを持って論理的に意見を述べている。 相手の考えを尊重して話し合っている。 目的に応じて言葉遣いなど表現を工夫している。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。 収集、整理した情報を正確・簡潔に表現している。 書くことに役立てるため様々な表現についてその効果を吟味している。		伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけている。 日本語の表現の特色について理解している。 語句や語彙の成り立ちについて理解している。
評価方法	・行動の観察（授業態度） ・記述の点検（ワークシート・作品等）	・行動の観察（授業態度） ・パフォーマンス評価	・記述の確認（定期テスト・ワークシート）		・行動の観察（授業態度） ・記述の確認（定期テストワークシート）

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期 前半	書いて伝える	「文章の書き方」基礎講座1 ・わかりやすい文を作るためのきまりを身につける。 ・原稿用紙の使い方について正しい知識を身につける。 ・表現を豊かにすることができる修辞法を学ぶ。	○	○	○		○	a　わかりやすい文を書くための方法を理解する。 b相手に伝えることを意識して文章を書く。 c　原稿用紙の使い方や推敲の観点を理解する。 e 整った文章を書く。	観察 ワークシート 作品
1学期 後半	小論文・レポート入門	「文章の書き方」基礎講座2 ・適切な題材や材料を収集し整理できる。 ・文章の主題を明確にする。 ・文章の構成を考えて、文章が書けるようになる。	○	○	◎		○	a　図や写真を見て情報を整理する。 b　書くことに関する文章を読み、自らの表現に生かす。 c　ことばについて理解している。 e 整った文章を書く。	観察 ワークシート 作品 定期考査
2学期 前半	会話・議論・発表	表現の実践1 ・話すこと・聞くことの重要性を理解する。 ・スピーチの方法、人前で話す、聞くうえでの注意事項を学ぶ。 ・面接を受ける態度や表現を学ぶ。 ・面接に対応した態度や表現を身につける。	○	◎	○		○	a 話すこと、聞くことを見つめなおす。 b　スピーチの方法、人前で話す場面、人の話を聞く場面で注意することを理解する。 c　コミュニケーションについて書かれた文章を読み、自らの表現に生かす。 e わかりやすいスピーチをする。話し手が話しやすい聞き方をする。	観察 ワークシート 作品
2学期 後半	自己PRと面接	表現の実践2 ・1学期で学習した「文章の書き方」に沿って、進路に即した作文を実際に書く。 ・面接官と受験生の立場で模擬面接をグループで行い、相互批評する。 表現の実践3 ・用途に応じた手紙の書き方を知る。	○	○	◎		◎	a　場面にふさわしい言葉遣いを考える。 b　働くことや将来の夢についての文章を読み、自らの進路について考える。 c　具体的事例の表現効果について考える。 e 質問に対して、具体的で説得力のある答え方をする。 通信文の形式を理解する。	観察 ワークシート 定期テスト 作品 相互評価 自己評価

※令和３年度以前入学生用

３学期	表現を楽しむ	表現の実践4 ・今までの学習を踏まえ、高校生活の思い出を主題・構成を考えて、豊かな表現でわかりやすく書く。	○		○		◎	a 構成、文体、表現などに留意する。 c 効果的な表現について考える。 e 経験から得たことや学んだことを筋道を立てて書く。	観察 定期テスト 作品

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解